

はま Y O U



生後200日の「桜浜」と「桃浜」 写真提供:アドベンチャーワールド



循環器外来の診療日が増えました

診療日・時間／受付：月曜日 午後2時00分～午後4時30分
(予約制) 火曜日 午後1時30分～午後4時30分

担当医／なかむら のぶお さかごし のぶお
中村 信男 医師 阪越 信雄 医師(紀南病院副院長)
すはら ひとし
須原 等 医師(紀南病院 心臓血管外科部長)



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中
訪問看護師・訪問リハビリセラピスト

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。



CONTENTS

理念・基本方針…………… 2

2015年度の事業計画…………… 2～4

2014年度の診療実績…………… 5～6

地域包括ケア病棟が
開設されました…………… 6～7

各部署から一外来のご紹介…………… 8

患者満足度調査結果について… 9～10

日本看護協会より表彰されました………… 11

管理栄養士のおすすめレシピ………… 11

●白浜はまゆう病院 外来診療担当表

理念

私たちは、地域に根ざした医療機関として、誠実さと思いやりをもって、質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりに努めます。

基本方針

1. 利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にしたい医療とケアを提供します。

2. 地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

3. 協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。

4. 利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様と手を携え、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

5. 事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

6. 質の維持と改善

私たちは、常に研修を行い、時代の水準を維持するとともに、お互いに注意し合い、サービスの質の向上に努めます。

7. 観光地の病院としての対応

私たちは、観光客の人々が安心して訪れられるよう、不慮の事故や病気に対しての診療体制を整備します。

あみだに
みんなが、
いつでも
しんが、も



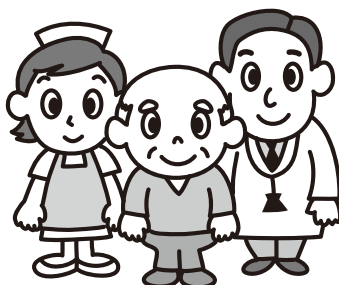
2015年度の主な事業計画

当財団は、1993年2月に設立されて以来22年、医療や公衆衛生に関する事業を展開し、白浜町及びその周辺地域の健康増進及び地域医療の向上に努めてきました。

公益財団法人として4年目、公益性と透明性が求められる法人として、組織体制の整備や財務管理、情報公開などコンプライアンスに基づいた適切な法人運営に努めます。

2014年度診療報酬改定で、地域包括ケアシステムを支える病棟の充実が求められ、地域包括ケア病棟が新設されました。これを受けて当院は、介護療養病床(76床)を介護療養病床(51床)と地域包括ケア病床(25床)に4月1日から病床転換し、急性期病床又は在宅等からの患者の受け入れ等の役割を積極的に担っていきます。

また、各医療機関が有する病床において、医療機能の現状と今後の方向を選択し、病棟単位で都道府県に報告する病床機能報告制度の取り組みが2014年度から始まっています。都道府県は医療圏ごとに各医療機能の将来の必要量とその地域に相応しいバランスのとれた医療機能分化と連携を適切に推進するため、2015年度から地域医療構想の策定をすることになっています。今後、地域医療構想の策定により、病床機能の転換も迫られる事態が想定されることから、地域の医療と福祉の問題に積極的に関与して、地域が求める医療、社会貢献できる医療機関としての役割を果たしていきます。



1.公益事業

- (1) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」を財団内外に周知し、各事業においてその実践に努め、年度単位での見直し検討を行います。
- (2) 公益財団法人に相応しい運営基盤の整備、財政基盤の強化、健全運営のための法人組織の確立に努めます。
- (3) 「骨リウマチ疾患探索研究所」で関節リウマチや骨粗しょう症の治療薬の臨床研究を積極的に推進します。
- (4) 白浜町及び地域の医療福祉ニーズの把握に努め、特に高齢化や過疎化が進む地域における地域医療・福祉の提供体制づくりを研究します。
- (5) 「院内研究発表大会」を開催し、医療・ケア・サービスの質の向上に努めます。
- (6) 「健康教室」を定期的に開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。
- (7) 大規模災害の発生に備え、各施設の防災体制を整備し、他の医療機関等との連携を図ります。

2.白浜はまゆう病院

- (1) 医療機関の機能強化と連携、在宅医療の充実を図るため、4月から地域包括ケア病棟を開設し住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。
- (2) 医療情報連携保全基盤推進事業への参画を継続し、和歌山県立医科大学や近隣の中核病院と診療情報を共有し、災害時のデータ保全や平時の近隣医療機関との診療情報の共有を図ります。
- (3) 医療サービスの質の改善・向上に努め、ホスピタリティの高い病院づくりの推進に努めます。
- (4) 医療人材の確保と育成に努めます。
 - ①医師・薬剤師・看護師・リハビリテーションセラピストの採用に努めます。
 - ②教育・研修を通じた人材の育成、研究発表の奨励、専門資格者の養成を行います。
 - ③管理監督職研修を行ない、経営職の育成に努めます。
- (5) 主要診療機能の拡充を図り、消化器疾患、呼吸器疾患、関節疾患、神経難病疾患・認知症疾患、泌尿器疾患、リハビリテーション、リウマチ疾患の外来診療の充実努めます。
- (6) 救急医療体制の再構築、へき地医療支援の継続に努めます。
- (7) 医療安全対策および院内感染対策の充実を図ります。
- (8) 財団内施設間の連携強化、多職種にわたるチーム医療の推進に努めます。
- (9) 地域医療連携の推進と医療活動を通じた地域への貢献に努めます。
- (10) DPCの運用とクリニカルパスの適応疾患の拡大とパス適用率の向上に努めます。
- (11) 病院機能評価認定更新の受審に向けた組織的継続的な取り組みを行います。
- (12) 外来の増患対策、病床稼働率の向上等による健全経営の維持に努めます。
- (13) 危機・災害時に強い病院づくりを推進し、DMAT（災害派遣医療チーム）を核にした災害医療体制の強化を行います。
- (14) 看護師、リハビリテーションセラピストの人材確保のため院内保育所を整備します。



3.西富田クリニック



万全な医療を提供し、安心してかけられる心やさしいクリニックづくりに努めます。

- (1) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実努めます。
- (2) 財団関係施設、他の医療機関、介護事業所等との協力連携をさらに深め、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
- (3) 白浜はまゆう病院に地域包括ケア病棟を開設したことで、住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。

4.鮎川診療所

地域に密着し、広く利用していただける診療所運営を行います。

- (1) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんばぽと連携し、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として、在宅医療の充実を図ります。
- (2) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (3) 白浜はまゆう病院に地域包括ケア病棟を開設したことで、住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。
- (4) 在宅医療の一環として訪問診療を行い、地域に密着した診療所運営を目指します。



5.日置診療所

白浜はまゆう病院と連携し、地域の住民が気軽に受診できる診療所運営を目指します。



- (1) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校等と連携し医療面での支援協力を積極的に実施します。
- (2) 通院困難者等には自動車での送迎を行い、必要な支援に努めます。
- (3) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぼぼと連携し、24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として、在宅医療の充実を図ります。
- (4) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
- (5) 白浜はまゆう病院に地域包括ケア病棟を開設したことで、住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。

6.三舞診療所

白浜はまゆう病院と連携し、地域の住民が安心できる診療所運営に努めます。

- (1) 白浜町保健事業の主旨を踏まえ、診療所における保健医療を充足し、地域住民の健康増進に寄与します。
- (2) 外来診療日数は、週2日を継続します。
- (3) 白浜はまゆう病院に地域包括ケア病棟を開設したことで、住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。

7.川添診療所

「理念」に沿い、川添地区に根ざした医療機関として、質の高い医療サービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを目指します。

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかれる診療所づくりに努めます。
- (2) 外来診療日数は、週4日を継続します。
- (3) 白浜はまゆう病院に地域包括ケア病棟を開設したことで、住み慣れた地域で最後まで暮らせる「地域包括ケアシステム」の実現を目指します。
- (4) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力を努めます。



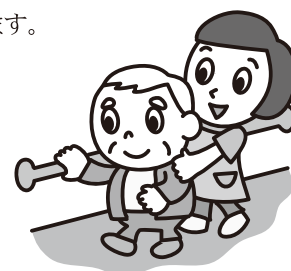
8.訪問看護ステーションたんぼぼ

病気や障害を持った人が、安心して住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活が送れるように看護ケア・リハビリを提供し、予防から看取りまでの療養生活を支援します。

- (1) 積極的な訪問活動を推進し、利用者の拡大に努め訪問看護、訪問リハビリを通じて経営の向上を図ります。
- (2) 他の事業者とのチームワークを大切にして、サービスの質の向上と円滑な提供に努めます。
- (3) 利用者のニーズを把握し、より質の高い看護・リハビリの提供に努め、利用者との信頼関係を深めます。

9.骨リウマチ疾患探索研究所

- (1) 大阪市立大学医学部に開設された「高齢者運動器変性疾患制御講座」特任教授の着任に伴い、財団内に「骨リウマチ疾患探索研究所」を設置しています。
- (2) 関節リウマチ及び骨粗鬆症に関する市販後薬の臨床研究を行い、海外で実施された臨床研究の結果の日本人に対する効果について独自のコホート研究を行うことを目的とした事業を推進します。
- (3) 患者と医療関係者に対して、骨粗鬆症及び関節リウマチ疾患に関する啓蒙活動に努めます。



2014年度診療実績

白浜はまゆう病院

《 2014年度 主な検査件数 》

検 査		
検査名	件数	内容
CT	3044	コンピュータ断層撮影法。X線を使用して身体の断面を撮影する検査。
MRI	1405	磁気共鳴画像法で磁石と電波を使用して身体の中を画像化する。
胃内視鏡	2928	口から内視鏡を入れ、先端の超小型カメラで胃の中の様子をモニターに映し出す。
大腸内視鏡	264	肛門から内視鏡を入れ、先端の超小型カメラで直腸や結腸の様子をモニターに映し出す。
超音波（腹部・その他）	2640	高周波数の超音波を腹部にあてて、返ってくる反射波からお腹の様子を画像に映し出す。
心臓超音波	372	高周波数の超音波を心臓にあてて、返ってくる反射波から心臓の様子を画像に映し出す。
心電図	2712	心臓の収縮に伴って発生する心筋の変化を電極等からなる心電計によって記録した波形。

《 2014年度 主な手術件数 》

手 術		
手術名	件数	内容
人工関節置換術 （肩・股・膝）	67	関節の傷んでいる部分を取り除き、人工関節に置き換える。
内視鏡的結腸ポリープ・ 粘膜切除術	37	内視鏡を使用してポリープを粘膜ごと切除する。
骨折観血的手術 （肩甲骨・上腕・大腿）	34	ギプス固定では治癒が難しい複雑な骨折や重度の骨折をした場合に実施する。
人工骨頭挿入術（肩・股）	19	骨頭を切除し、金属やセラミックで出来た人口の骨頭を設置する。
胃瘻造設術	14	口から栄養をとれない方のために、お腹にチューブが入る小さな口を作る。
鼠径ヘルニア手術	10	太腿の付け根伸部分の飛び出している部分を切除しふたをする。
腹腔鏡下胆嚢摘出術	8	お腹の中に腹腔鏡というカメラを入れ、モニターを見ながら胆嚢を取り出す。
小腸切除術 （悪性腫瘍以外）	8	小腸の十二指腸、空腸、回腸に分かれるが、十二指腸の手術は膵臓や胆管などを処理しないといけないので難しくなる。

2014年度診療実績

白浜はまゆう病院

《 クリニカル・インディケーター 》

クリニカル・インディケーターとは？

医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の質を客観的に測ることのできる【ものさし】にあたります。

当院でもいくつかのクリニカル・インディケーターを設定して、医療水準や質の面での改善課題や引き上げ目標を明確にして取り組んでいます。

患者数	外来延数	72,670人	救急搬入患者	搬送患者数	909人
	1日平均外来患者数	249人		救急応需率	94.88%
	入院延数	89,446人	手術件数	内科	35件
	1日平均入院患者数	245人		外科	129件
平均在院日数	一般病棟	19.8日		整形外科	297件
	回復期リハ病棟	85.8日		泌尿器科	57件
	医療療養病棟	159.5日			
	介護療養病棟	97日			
病床利用率	一般	本館4階			
		本館5階			
	回リハ	新館5階			
	医療療養	新館3階			
	介護	本館3階			
		新館4階			

地域包括ケア病棟が開設されました

～本館3階病棟のご紹介～

師長 岡村江利子



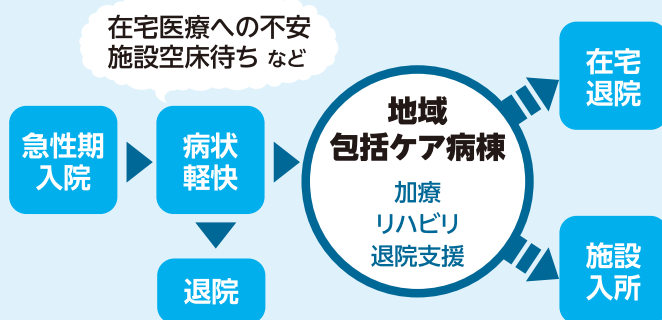
本館3階病棟は、2015年4月に医療療養病棟から地域包括ケア病棟に転換したばかりの25床の病棟です。看護スタッフ15名、介護スタッフ7名に加え、専任のリハビリスタッフ3名と退院支援看護師1名がおり、スタッフ一丸となり安心して在宅復帰していただけるように、身体的・精神的なケアに努めています。また、患者様・ご家族様の意向にそった退院支援が出来るよう他施設とも連携し、退院調整を行っています。

地域包括ケア病棟とは・・・

入院治療後、急性期の治療が終了し病状が安定したが、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対し、リハビリテーションや退院支援などを行う在宅復帰等へ向けた病棟です。具体的には以下のような病状となります。

1. 当院にてもう少し経過観察が必要になる方
2. 在宅復帰へ向けてリハビリテーションが必要な方
3. 在宅での療養準備が必要な方

最長60日以内での退院となります。



他の病棟に比べ病床数が少なく、療養環境は部屋も広々としています。特に特殊浴室は病室のベッドごと脱衣場に入ることが出来るので患者様の負担を最小限にし、安全・安楽に入浴して頂けます。



ベッドごと入れる広々とした脱衣場



さらに、単調な入院生活を少しでも楽しんで頂きたいと、6月より介護スタッフが中心となりアクティビティケアの活動として、週間行事の中にレクリエーションを取り入れました。

内容は様々で、患者様それぞれの個性に応じたレクリエーションが提供できるように、折り紙・塗り絵などの手芸、スゴロク・漢字の読み取りクイズ・将棋などのゲーム、散歩・体操などの運動を行っています。患者様の心身の活性化に繋がるようなケアを提供していきたいと思っています。

又、他病棟の患者様でも気軽に参加していただけるような雰囲気作りを心掛けています。興味のある方は是非、ご参加下さい。お待ちしております。

患者様が笑顔で在宅に帰られることが、スタッフ全員の喜びと次への活力となっています。

笑顔で傾聴・思いやりを大切に一人ひとりの心に届く看護・介護に努めていきたいと思っています。

各部署から

～外来のご紹介～



外来師長 新谷 恭子

外来看護師の一日は、朝のミーティングから始まります。夜勤者からの申し送りや、当日の手術や入院の予定などの情報を共有し、患者さまが安心して受診していただけるよう準備をしています。

今回は、診察前や後にご利用いただく、問診室や処置室について紹介させていただきます。



毎朝の朝礼風景



【問診室】

大切なコミュニケーションの場として、検査や診察前に、患者さまの血圧や脈拍などを測定し、症状についてのお話を伺います。お伺いした内容は、電子カルテに記載し、診察医と情報共有しています。



【医療相談室】

看護師が検査の説明やインシュリン・リウマチの自己注射指導など、患者さまに合わせ個別に行っています。また管理栄養士による栄養指導もこちらで行います。



【処置室】

採血や点滴、吸入などを行っています。2か所の採血スペースとベッド1台・リクライニングソファ3台を設置しており、状態や処置内容により使用しています。こちらでも、患者さまとのコミュニケーションを大切にしています。

限られた時間の中で、医師の治療方針をご理解いただき、治療を継続しながら生活が送れるよう、様々な支援をしています。症状の観察や服薬・食事・運動など、また介護についてなど、多職種と連携を図り、説明や指導を行っています。日々進歩する医療に対応できるよう、看護師は様々な研修に参加し、現在、登録リウマチ看護師3名、禁煙指導看護師1名、フットケア指導士1名、内視鏡技師6名が在籍しています。

また、患者さまが安全に診療を受けられるように、患者誤認防止の取り組みとして、診察室入室の際、採血や処置の前に、患者さまの氏名を確認させて頂いています。御面倒をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。

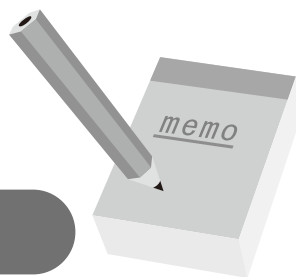
今後も、皆様に「信頼される外来」を目指し、看護の質の向上に努めます。

外 来

入 院

健 診

アンケート



2015年2月、外来・入院・健診の3部門において利用者のみなさまにアンケート調査を実施し、合計745名の方から貴重なご意見をいただくことができました。誠にありがとうございました。

一部ですが、この場をお借りしてみなさまから寄せられたご意見をご紹介します。また、院内には「ふれあいの箱(ご意見箱)」を設置しておりますので、引き続きお気づきの点がございましたら、ぜひご意見をお寄せ下さい。

外 来

(1) 医師の病気に関する説明をもっとくわしくしてほしい。

申し訳ございません。診察の場でコミュニケーション不足とならないよう、各医師にご意見をお伝えし、反省の材料とさせていただきます。

今後ともていねいな説明の徹底に努めますので、少しでも理解しづらいことがあれば疑問や不安な点が解消されるまでご遠慮なくご質問ください。

(2) 外来で受付票を入れた順番どおりではなく後から来た人が先に呼ばれる事がよくあるので工夫してほしい。

整形外科のように予約患者様と予約のない患者様を一人の医師が診察する場合、予約患者様の診察の間に予約のない患者様をお呼びしております。

また、検査や処置等の診察内容により診察順序が変更になる場合があります。いったん診察を受け、採血やレントゲンの結果が出た後で再度診察室に入ることもあり、順番通りに進んでいるか分かりにくいこともあるかと存じます。

受付された順番は電子カルテシステムにより把握しており、上記のような事情がない限り受付順どおりにお呼びさせていただいておりますので、なにとぞご了承くださいますようお願い申し上げます。



(3) 予約でも待ち時間が長い時がある。

大変ご迷惑をおかけしております。予約を希望される患者様が多い場合、予約枠いっぱいまで予約を入れざるを得ず、また診察や処置の内容によっては予定していた診察時間を超えてしまうことがあり、待ち時間が長くなっております。

長時間お待たせしていることは大変心苦しく思っておりますが、患者数と診察時間のバランスを考慮した予約に努め、できるだけ待ち時間を短縮できるように取り組んでまいりますのでご容赦いただければと存じます。



(4) 交通がない。家からバスがないから、たいへんです。

シャトルバス、シャトルタクシーの運行を行っておりますが、お住まいの区域により十分な対応ができていないこともあろうかと思えます。当院への通院手段等について皆様方へのアンケート調査を通して、受診していただきやすくなるような交通機関の確保について検討を進めてまいります。

(5) 血液の検査をした時、早く電話でも簡単な報告があればありがたいと思います。

緊急その他必要のある場合はお電話にて結果報告をさせていただくことがありますが、血液検査を受けられる患者様の人数は大変多いため、通常の採血結果を逐一お電話でご報告させていただくのは難しい状況です。誠に申し訳ございませんが、採血後の再診時に説明を受けていただきたいと存じます。

次の診察まで長く間隔があく場合は結果報告のための診察を間に入れることも出来ますので、採血時に医師にご相談頂ければ幸いです。



入院

(1) いつもお世話になりありがとうございます。本当によくしてもらっているのですが、スタッフによっては雑であったり、むだな言葉が多すぎる方もいますし、文句の多い方もいます。

ご迷惑をおかけし申し訳ございません。このような態度は仕事上の態度として不適切な事であると認識しております。普段からスタッフ内で注意喚起し、また研修を通して教育してまいります。職員の接客教育をおこない、安心してご家族の看護をお任せいただける職員養成に努力してまいります。

(2) 食事は一応病院食ですが、もう少し食べやすい大きさ、おいしそうに見える心くばりがほしい。サンドイッチなど、どこかの喫茶店で食べる様な大きいのはびっくりしました。食べやすい、お口に入りやすい様に気をつけてほしい。

食事形態は「ふつう」「一口大きざみ（約2cm）」「きざみ（約1cm程度）」「極小きざみ（約5mm程度）」「ペースト」の5段階で対応させていただいております。盛付け時の工夫等、患者様の立場に立った食事提供に努めてまいります。



健診

(1) 検査が終わったのを早く教えてくださったらもっとよかったと思う。

ご指摘を受け、受付時にチェックリストの縮小版をお渡しし、検査項目にチェックを入れることにより、検査終了が分かるようにさせていただきました。ご意見ありがとうございました。

(2) 胃カメラの説明なく突然薬を飲まされたので飲む前に「胃カメラ飲みますので」と一言ほしかったです。

申し訳ございません。検査前の患者様のお気持ちを考え、不安なく検査を受けられるよう、検査前、検査中のお声かけを徹底いたします。



みなさま貴重なご意見を多数お寄せいただき誠にありがとうございました。

日本看護協会より表彰されました

白浜はまゆう病院 東 直子副院長が6月9日神戸で開催されました日本看護協会通常総会で、日本看護協会会長表彰を和歌山県龍神出身の坂本すが会長より受賞いたしました。

『このような栄誉を得ましたことは病院のご理解と協力、先輩はじめ同僚の皆様のご指導、励ましの賜物と心から感謝しております。今後も、看護という素晴らしい職業に従事できた感動を忘れずに、思いやりのある患者様に満足していただける看護の提供が出来るよう、更に研鑽を重ね努力していきたいと思います。』



私たちが おすすめする カラダにいい とっておきレシピ 第22回

夏野菜の焼き浸し

暑さで食欲落ちていませんか?!そんな時期でもさっと食べられる焼き浸しをどうぞお試しください。

揚げ浸しに比べて油分を大幅に抑えることができます。店頭にはカラフルな夏野菜がたくさん並んでいます。こちらに載せている野菜以外のものも入れて是非アレンジしてみてください。



食養科 管理栄養士
茶端 舞

夏野菜の焼き浸し

材料(2人分)

トマト……………	160g	調味料	
なす……………	90g	出汁……………	200ml
ズッキーニ…	70g	うすくちしょうゆ…	小さじ1
黄パプリカ…	60g	食塩……………	少々
赤パプリカ…	60g	みりん……………	小さじ1
みょうが…	5g(1/2個)	酒……………	小さじ2
大葉……………	3g(3枚)	生姜……………	5g
すりごま…	少々	サラダ油………	大さじ1/2
鰹節……………	少々		

栄養価 (1人分) エネルギー…92kcal 蛋白質…2.8g
脂質…3.5g 塩分…0.7g 食物繊維…3.4g

作り方

- ①トマトは沸騰した湯に入れ、皮が柔らかくなってきたら取り出し氷水に浸して皮をむく。半分に切る。
- ②Aの野菜は、それぞれ縦に大きめに切る。
- ③フライパンにサラダ油をひき、Aの野菜を焼く。このとき強火で表面に焼き色がついたら火を止める。
- ④合わせだしを作る。沸騰した出汁に調味料を合わせ、すりおろした生姜を入れる。
- ⑤①と②の野菜を③の合わせだしに入れ、弱火で3分ほど炊く。
ポイント:温かいままでも美味しいですが、夏なので是非少し冷やして食べてみてください。お出汁がしみてより美味しく召し上がっていただけたと思います。
- ⑥皿に盛り、みょうがと大葉の干切りしたものと、鰹節、すりごまをのせて完成。



白浜はまゆう病院診療担当表

電話 **43-7880**(受付) **43-6200**(代表)

診 療 科			月	火	水	木	金	土	
内 科	内科1(初診)	午前	伊藤 揚 荘	松本 潤	伊藤 揚 荘	松本 潤	赤松 功博	高村 竜一郎	
		午後	(当 面 の 間、休 診)						
	内科2(再診)	午前	赤松 功博		松尾 晃次	松尾 晃次			
		午後	中村 信男			井神 仁			
	内科3(再診)	午前							
		午後		阪越／須原		山崎 幸茂			
	内科4(再診)	午前		齊藤 豊	赤松 功博	中川 武正			
		午後	松本 潤	木下 正博		高井 恵美			
	内科5(再診)	午前		伊藤 揚 荘	谷口 友志	伊藤 揚 荘	谷口 友志		
		午後	高井 恵美		谷口 友志	松本 潤	谷口 友志		
外科		午前	当 番 医	寒川 玲	田中 善啓	寒川 玲	田中 善啓	当 番 医	
脳神経外科		午前				中北 和夫			
整形外科		午前	安野 翔平	安野 翔平	小池 達也	安野 翔平	岩切 健太郎		
装具外来		午前	装具外来			装具外来			
小児科		午前	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋	古久保 和洋
		午後	古久保 和洋	古久保 和洋		古久保 和洋	古久保 和洋		
婦人科		午前	國部 久也	國部 久也	國部 久也				
		午後	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也	國部 久也		
皮膚科		午前						県立医大	
		午後		県立医大					
眼科		午後			高田 幸尚		井村 良子		
耳鼻咽喉科		午後				県立医大			
循環器外来		午後	中村 信男	阪越／須原					
呼吸器外来		午前			松尾 晃次	松尾 晃次			
		午後							
アレルギー・呼吸器専門外来		午前				中川 武正			
		午後							
腎臓内科		午前		齊藤 豊					
泌尿器科外来		午前	木村 泰典	木村 泰典	川嶋 秀紀	木村 泰典	木村 泰典	当 番 医	
		午後	川嶋 秀紀		木村 泰典				
泌尿器科専門外来		午後		川嶋 秀紀			川嶋 秀紀		
神経内科・ リハビリテーション専門外来		午前	小口 健	廣西 昌也	中崎 繁明		中崎 繁明		
		午後	中崎 繁明	石口 宏		小口 健			
リウマチ外来		午前		小池 達也		小池 達也			
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤 揚 荘		伊藤 揚 荘			
糖尿病専門外来		午後		井神 仁					
消化器専門外来		午前			谷口 友志		谷口 友志		
		午後			谷口 友志		谷口 友志		
循環器・高血圧専門外来		午前						有田 幹雄(月2回)	

※火曜日午後 内科3診…第1・3・5(阪越)/第2・4(須原)※診療担当医が変更になることがあります。ご了承下さい。 2015.8.1～

	受付時間	診療時間	●休診 土曜日午後・日祝
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00	※診療時間外(夜間・休日)に 具合が悪くなったときは、 日時に関係なく受付します ので、白浜はまゆう病院へ 電話でご連絡ください。
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00	
循環器外来(月)	14:00～16:30		
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00	
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00	
眼科(水)	13:30～15:30	14:00～16:30	
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00	
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00	



公益財団法人白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 井潤 誠 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 【E-mail】hamayu@mb.aikis.or.jp 【URL】http://www.hamayu-hp.or.jp/

- 西 富 田 ク リ ニ ッ ク
- 鮎 川 診 療 所
- 日 置 診 療 所
- 三 舞 診 療 所
- 川 添 診 療 所
- 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン た ん ぽ ぽ

〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地

〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川583番地の3

〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1

〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地

〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103番地

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678

TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005

TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192

TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001

TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037

TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682